



□□ _____ □□

1. ニュース…2019松本全国大会に関係者30人集合

□□ _____ □□

2019日本自費出版ネットワーク松本全国大会が、5月10日（金）に長野県松本市で開催されました。参加者30人は例年よりも少なかったですが、総会と、3本の研修会を行い、「どっぷり自費出版事業を学ぶ一日」を過ごしました。

今回の開催に当たり、地元の電算印刷の宮澤社長を始め加藤理事や社員の方々の大きな支援がありましたことを報告いたします。来年は「2020岐阜全国大会」です。よろしく願いいたします。

.....

松本大会 裏話
(電算印刷 加藤洋子)

松本全国大会が終わってひと月になります。ご来場いただいた自費出版ネットワーク会員の皆さま、松本は如何でしたでしょうか。

「自費出版ネットワークの全国大会、松本開催って可能ですか？」と上司に相談し快諾を得てから約2年。紆余曲折を経ての開催裏話をちょこっと。

当初は別会場を予約していたのですが、開催日の前倒しによりその会場は別予約が入っていると判明し、アルモニーマン様に急遽打診。幸いにも予約が取れて一安心したもの、ネットワークの会の講演をさてどうするか……。

上司「Book Cafeの取り組みは十分題材になるんじゃないか」

確かにそれはそうですけど、誰が講演するの？初代実行委員長は私ですが、シャイな性格のため人前でしゃべるなんてとてもとても……。 (誰ですか、笑ったのは)

上司「山崎がいいんじゃないか？ 事務局だし、得意だし。」

ごもったもな意見に、山崎さんへ講演依頼。

山崎「いやいやいやいや……マジすか。」 私「マジっす。」
山崎「まあ、尺の調整は慣れてるんで…わかりました。」

さて、その後宿泊の取りまとめにあたっては、変更につぐ変更で先方支配人がキレそうな雰囲気だったため、以後の取りまとめと会場設えについては事務局に直接お願いするという事で、心の中で手を合わせながら宮川さんへお願いをして一件落着。無茶ぶりしてしまい、本当に申し訳ありません。

メルマガに関しては広島大会の際に、1年間松本紹介をすると約束し、

当初はさらっと紹介しようと思っていたものの、途中から興が乗ってあれもこれもと盛りだくさんになっていきました。

中でも松本城の構造については、松本城管理事務所の後藤先生にお願いして各種資料を無料提供してもらおうと図々しく相談したところ、無料なのは小学校用の社会科資料のみで、「それ以外は松本城の売店で買ってね♪」との反撃を受け購入。でもそのお陰でいろいろと知ることができ、これはこれで結果オーライと思っています。振り返れば書き足りないことがワンサカあって、締切遅延の常習者にもかかわらず「もう少し書き続けたかった」などと思ってしまう。

さて、大会前日、山崎さんからの報告「昨日ちょっとリハしてみて、尺がどうも長くなっちゃいそうなんスよ。」に「切って。」と即答。「ダメっすか。」「ダメっす。」

過ぎてみればあつと言う間でしたが、貴重な経験ができたことを感謝するばかりです。また、多くの方にご迷惑をかけ、この場を借りてお詫びいたします。そして、深く御礼申し上げます。ありがとうございました。

□□ _____ □□

2. 自費出版事情 … ～会員便り～ No.18

□□ _____ □□

リーブル出版（株式会社リーブル）
坂本 圭一朗

「タイトル」

このたび、香港国籍を取得しサッカー香港代表となった中村祐人選手の知られざる人生を描いた本を発刊しました。

著者と中村選手本人が相談して決めた当初のタイトルは『我係香港人～中村祐人・香港サッカーに人生を捧げた男～』

しかし「我係香港人」の意味が分かりにくいし（「我係」＝「I am」という意味だそうです）、過去に香港サッカー界の向上に貢献した歴史上の日本人と読めなくもない。

そこで私は、『サッカー香港代表・中村祐人～香港サッカーに捧げる人生～』という分かりやすいタイトル案をご提案しました。その後も、原稿を読めば読むほど「人生」「生き方」という言葉を入れた方がよいと思い、メールで著者とやり取りを重ね、最終的には『サッカー香港代表 中村祐人という生き方』というタイトルになりました。

自費出版の本ですので、そこまでタイトルにこだわらなくてもよいのかもしれませんが、少しでもいい本にしたいし、できれば売れる方がいいし…と思うわけで、言われもしないのにタイトルはもちろん、帯の文章や紹介文などやっぱり毎回悩んでしまいます。

映画やテレビ番組や曲、商品などいろんなものの「タイトル」が気になるのは、決してボクだけではないはず…。

□□ _____ □□

☆ 知っとこ 岐阜 ☆ その1

□□ _____ □□

しっとこ岐阜① 1年間よろしく願いいたします。

今回から12回にわたり「しっとこ岐阜」を連載させていただきます
株式会社 岐阜文芸社の飯尾みゆきです。

来年の5月開催予定のNP0法人日本自費出版ネットワーク全国大会を
岐阜で開催することになりました。それまでに、少しでも皆様に岐阜の
ことを知っていただけるよう、文化・歴史・風土・食べ物・人物など
多方面から岐阜を掘り下げていきたいと思ひます。

連載の初めに、私の紹介を少しさせてください。
私は幼少から結婚までを長野県、愛知県で過ごし、20数年前に
縁あって岐阜に嫁いできました。
そんな私ですが、生まれたのは岐阜県です。新聞記者だった父の赴任先である、
郡上おどりで有名な郡上八幡で誕生しました。
すぐに転勤になったため、私の中では岐阜の記憶はありませんでしたが、
「清流長良川が運んだ御縁だ」と父が喜んでいたのを思い出します。

時が流れ、岐阜という土地にずっしり根を下ろし、今では立派な岐阜県民です(笑)。
よく岐阜の人は、「岐阜は名古屋の陰に隠れて地味」なんて自虐的な表現をしますが、
他県から嫁いできた私だからこそ、岐阜の良さがよりわかるような気がします。

里山が多く残る自然豊かな岐阜の魅力を1年間にわたり発信していきますので、
皆様どうぞお付き合いよろしく願いいたします。

株式会社 岐阜文芸社 飯尾みゆき

★あとかき

松本大会に参加された方、松本を楽しみましたか?

私は滞在中、二度もお蕎麦をいただき、散々飲んだ二次会の後
加藤さんにバーにも連れて行っていただきました。
そして夜の松本城、ご覧になりましたか?
月と堀に映る松本城、なかなか見られない光景を見せていただきました。
私にとっては、よく学びよく遊んだ松本となりました。
実は翌日、電算印刷さまにも突撃、さらに学ばせていただくことと
なりました。ありがとうございます!

今回から始まった「しっとこ岐阜」私にとっては近いところですが、
ほとんど知らない・・・
岐阜大会に向けて、一緒に盛り上げていきましょう!!!

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

お気づきの点、掲載情報、はたまた私への激励のお言葉がございましたら
yumi@maruwanet.co.jp まで、お願いいたします。